

西播

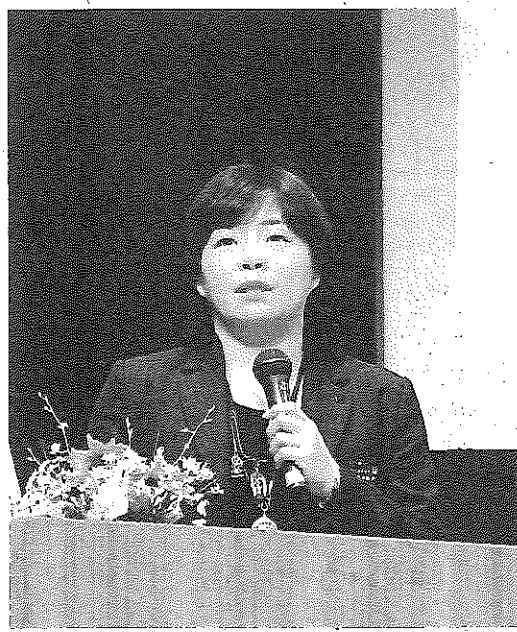
岩手の「復元納棺師」笹原さん講演

六粟市社会福祉協議会発足10年を記念して開催された。笹原さんは、脱脂綿や塗料などを用いた特殊な技術で損傷が激しい遺体を生前の姿に近づける、国内で数少ない復元納棺師の1人。東日本大震災では、津波や火災で傷んだ遺体を修復する「復元ボランティア」として岩手県を中心に活動。遺体安置所で笹原さんは大量のドライアイスで腐敗を食い止めながら、遺族のために黙々と作業に取り組んだ。

東日本での体験語る 六粟

笹原さんは「忘れられない思い出として、震災の1カ月後に遺体で見つかった、4人の子どもの母親のことを語った。笹原さんが懸命に復元した妻の笑顔に「残された夫が『これでやっと、子どもをお母さんに会わせられます』と涙ながらに話してくれた」と振り返った。

岩手県で親や兄弟を亡くした子どもの遊び場を開設し、交流を続ける笹原さん。「多くの死と対話し、生を考えさせられた。死は身



東日本大震災での活動を語る復元納棺師の笹原留似子さん
さん＝山崎文化会館

近にある。周りに悲しんでいる人がいれば、お互いに支え合える社会になってほしい」と結んだ。

死を見つめ「生」考える

遺体を生前に近い姿に戻す「復元納棺師」の笹原留似子さん(43)＝岩手県北上市＝の講演会が6日、六粟市山崎町鹿沢の山崎文化会館であった。東日本大震災の津波で亡くなった人々への思いや、残された遺族との交流を語り、約700人が耳を傾けた。

(杉山雅崇)